



平成29年12月

祝

新日見トンネル着工

新日見トンネル着工記念
地域活性化シンポジウム

「西の箱根」と呼ばれた日見峠。
江戸時代から道路への熱い思いと土木技術が、
長崎のまちを発展させてきました。
新日見トンネル着工。
このトンネル整備により、
新たな時代を切り開く道路整備が完成します。
これを機に、今後の長崎の発展について、
一緒に考えてみませんか。

道路への想いを
次世代につなぎ
新たな**発展**へ

2018. **2月11日** (日) **入場無料**

時間

14:00~17:00

13:30から受付を開始します。

場所

長崎県勤労福祉会館
2階 講堂

主催

一般国道34号道路整備促進協議会
道守長崎会議
国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所

後援

西日本高速道路株式会社長崎高速道路事務所

道路整備の変遷を知り、国道34号新日見トンネル4車線化の整備を契機として、長崎の更なる発展を目指す。



長崎河川国道事務所から日見峠方面を望む



平成29年12月
道路への想いを次世代につなぎ、
新たな発展へ

考えよう! 長崎の未来

新日見トンネル着工記念 地域活性化シンポジウム

■プログラム

14:00	オープニング	15:00~	国道34号新日見トンネル概要説明 長崎河川国道事務所長 垣原 清次
14:05~	開催挨拶 長崎市長 道守長崎会議代表世話人 長崎河川国道事務所長	15:10~	(休憩)
14:20~	基調講演 「道路の近代化と日見峠の変遷」 長崎大学名誉教授	15:20~	パネルディスカッション ◎コーディネーター 長崎大学名誉教授 岡林 隆敏氏 ◎パネラー 5名
	田上 富久 牧 圭子 垣原 清次	17:00	閉会

基調講演

14:20
▼
15:00



「道路の近代化と日見峠の変遷」

長崎大学名誉教授 岡林 隆敏 氏

昭和46年4月に長崎大学に着任し、平成24年3月までの41年間、土木関係、主に橋梁を専門として、研究、教育に従事。
長崎街道の歴史研究、橋梁、ダム等の長崎県内の土木関連遺産の重要文化財登録、出島の修復等を精力的に実施している。
とりわけ、日本の近代化に寄与した道とその遺構について、造詣が深い。

パネルディスカッション

15:20
▼
17:00

「道路整備の変遷」と 「道路整備を契機とした長崎の更なる発展」に向けた方策

■コーディネーター 長崎大学名誉教授 岡林 隆敏 氏

パネラー



長崎県トラック協会
副会長
井石 八千代氏



株式会社長崎文献社
副編集長
川良 真理氏



新大工商店街
振興組理事長
古賀 重朗氏



長崎市
土木部長
吉田 安秀



国土交通省九州地方整備局
長崎河川国道事務所長
垣原 清次

応募方法

入場無料

定員200名

参加を希望される方は、電話・FAX・メールのいずれかの方法により、
①氏名(会社名・団体名)、②住所、③電話番号をご連絡下さい。
応募期限は平成30年2月5日(月)。

※応募期限を過ぎてからでもご連絡いただければ対応可能です。

TEL 095-839-9861 FAX 095-839-9648
メール nagasaki@qsr.mlit.go.jp



■お問い合わせ/国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所 調査第二課
〒851-0121 長崎県長崎市宿町316-1 TEL:095-839-9861 FAX:095-839-9648